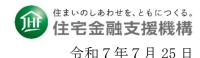
Press Release

報道関係者各位



2024年度 【フラット35】利用者調査結果

独立行政法人住宅金融支援機構(本店:東京都文京区後楽 1-4-10、理事長:毛利 信二) が実施した 2024 年度【フラット 3 5】利用者調査の結果をお知らせします。

調査結果の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_flat35.html)

調査の概要

本調査は、【フラット35】(買取型及び保証型)の利用者データを集計し、【フラット35】の利用状況を取りまとめたものです。本調査は2004年度から継続して実施しています。(今回の調査対象)

2024 年度(2024 年 4 月~2025 年 3 月)の買取承認案件及び付保承認案件(借換え案件を除く 27,523 件)

調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

〇 中古住宅の利用割合が増加 〈p. 3〉

【フラット35】の利用状況を融資区分(建て方)別に見ると、中古住宅(中古戸建・中古マンション)の利用割合は前年度から7.4ポイント増加して34.8%となった。 (内訳)

・中古戸建の利用割合 : 20.5% (前年度比+5.2ポイント)

・中古マンションの利用割合:14.3%(前年度比+2.2ポイント)

〇 世帯年収は増加 〈p.8〉

【フラット35】利用者の平均世帯年収(注1)は、2021年度以降増加傾向にあり、2024年度は669万円(前年度+8万円)となった。

(注1) 本人及び収入合算者の合計

○ 融資区分別の所要資金及び融資金は概ね増加 〈p.10、p.11〉

【フラット35】利用者の所要資金及び融資金(注2)を融資区分(建て方)別に見ると、中古マンションを除いた全ての融資区分において増加した。

(注2) 【フラット35】(買取型)又は【フラット35】(保証型)の融資金額

融資区分(建て方)	所要資金 (対前年度比)	融資金(対前年度比)
注文住宅	3,936万円(+73万円)	3,080 万円 (+40 万円)
土地付注文住宅	5,007万円(+104万円)	4,251 万円(+80 万円)
建売住宅	3,826万円(+223万円)	3,260万円(+168万円)

マンション	5,592万円(+347万円)	4,033 万円 (+144 万円)
中古戸建	2,573万円(+37万円)	2,208万円 (+26万円)
中古マンション	3,033万円(▲4万円)	2,365万円 (▲28万円)

○ 中古住宅の築後年数は長期化 〈p.15、p.16〉

中古住宅(中古戸建・中古マンション)の平均築後年数は長期化傾向が続いている。

・中古戸建 : 23.3 年 (前年度+0.3 年) ・中古マンション: 30.3 年 (前年度+1.6 年)

― 本リリースに関するお問い合わせ先 ―

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 長岡/熊谷/内藤/木下/長谷川 TEL: 03-5800-8019 住宅金融支援機構ホームページ https://www.jhf.go.jp/